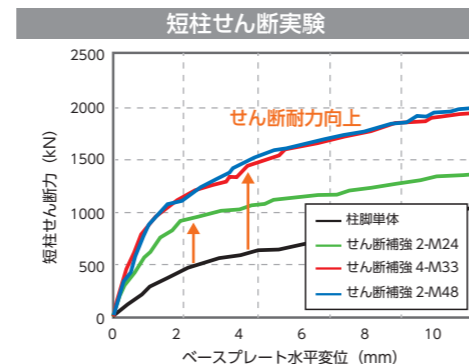
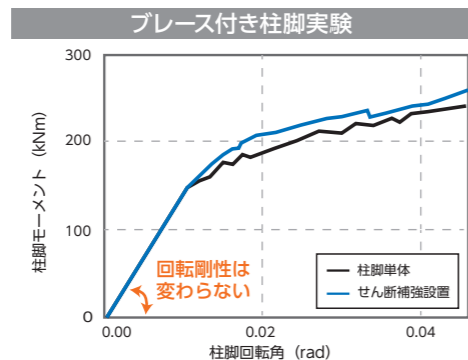
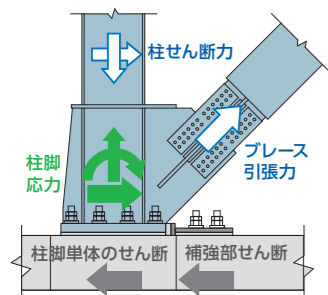


## 実験結果



## ご使用にあたって

1. 本カタログは、建築設計事務所様・建築施工業者様において、シアサイドプラスを用いた建築物を設計および施工・管理される際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。
2. 設計・施工にあたっては本カタログ・設計ハンドブック、標準図、施工マニュアル等を必ずご一読くださるようお願いいたします。
3. 製品仕様、規格等は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
4. カタログ内に掲載されている画像は、実物とは外観が多少異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

## 本カタログ内での表記について

特に注意していただきたい事項については、下記の警告表示をしております。

⚠：一般的な注意を喚起する表示

## 免責事項

万一シアサイドプラスに問題が発生した場合には、下記の免責事項をふまえた上で対応させていただきます。

1. 本資料および関連資料（設計ハンドブック、標準図、施工マニュアル等）に記載した事項に反した設計・施工による不具合
2. 設計者・施工業者の使用者が指示した標準仕様以外の仕様・施工方法・部材等に起因する不具合
3. 標準仕様以外に設計者・施工業者の使用者が指示した仕様・施工方法に起因する不具合
4. 本工法におけるシアサイドボルトの据え付け、グラウトの注入の施工を岡部株式会社から施工指導を受けたもの以外に作業させたことにより生じた不具合
5. 不可抗力（天災、地震、地盤沈下、火災、爆発、騒乱等）により発生した不具合
6. 本資料及び関連資料に記載した製品の保管・有効期限が守られずに発生した不具合
7. あらかじめ定めた用途、部位以外に使用し、それにより発生した不具合
8. 使用者もしくは第三者の故意、または過失により発生した不具合
9. 引き渡し後、構造、性能、仕様等の変更を行い、これにより発生した不具合
10. 構造物の変形、老朽化、外部からの衝突等、製品以外の外的要因により発生した問題
11. 開発・製造・販売時に通常予測される環境等の条件下以外における使用・保管・輸送等に起因する不具合

シアサイドプラスは日鉄エンジニアリング株式会社と共同開発した工法です。  
日鉄エンジニアリング株式会社における本工法名は「ベースプラスQ3」です。



〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2  
TEL.03-3621-1611 FAX.03-3621-1616  
<https://www.okabe.co.jp>

### ベースバック事業部

東部営業部 〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2 TEL.03-3624-5336 FAX.03-3624-5237・5267  
中部営業部 〒485-0074 愛知県小牧市新小本2-16 TEL.0568-71-6864 FAX.0568-71-7251  
西部営業部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町8-7 宝ビル5F TEL.06-6338-3123 FAX.06-6338-3141

本カタログに表示するシアサイドプラスは岡部株式会社の登録商標です。  
また、本カタログに表示するベースバック、セレクトベースは岡部株式会社、または岡部株式会社及び旭化成建材株式会社の登録商標です。  
本カタログに掲載されている仕様、規格等は改良のため予告無く変更することがあります。  
なお、カタログの制作には慎重を期しておりますが、誤字・脱字等により生じた損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

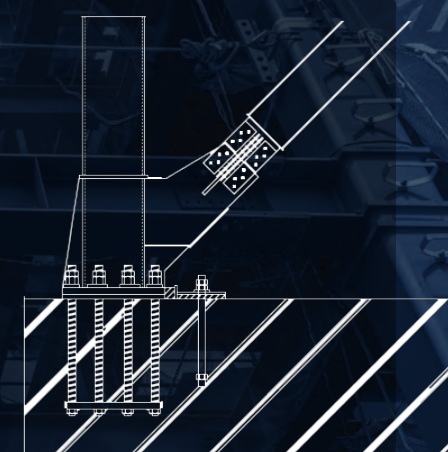
2605・2605・2605FA・00

## ベースバック・セレクトベース柱脚専用せん断補強工法

# シアサイド プラス<sup>®</sup>

## シアボルトタイプ

## SHEARSIDE PLUS Shearbolt Type

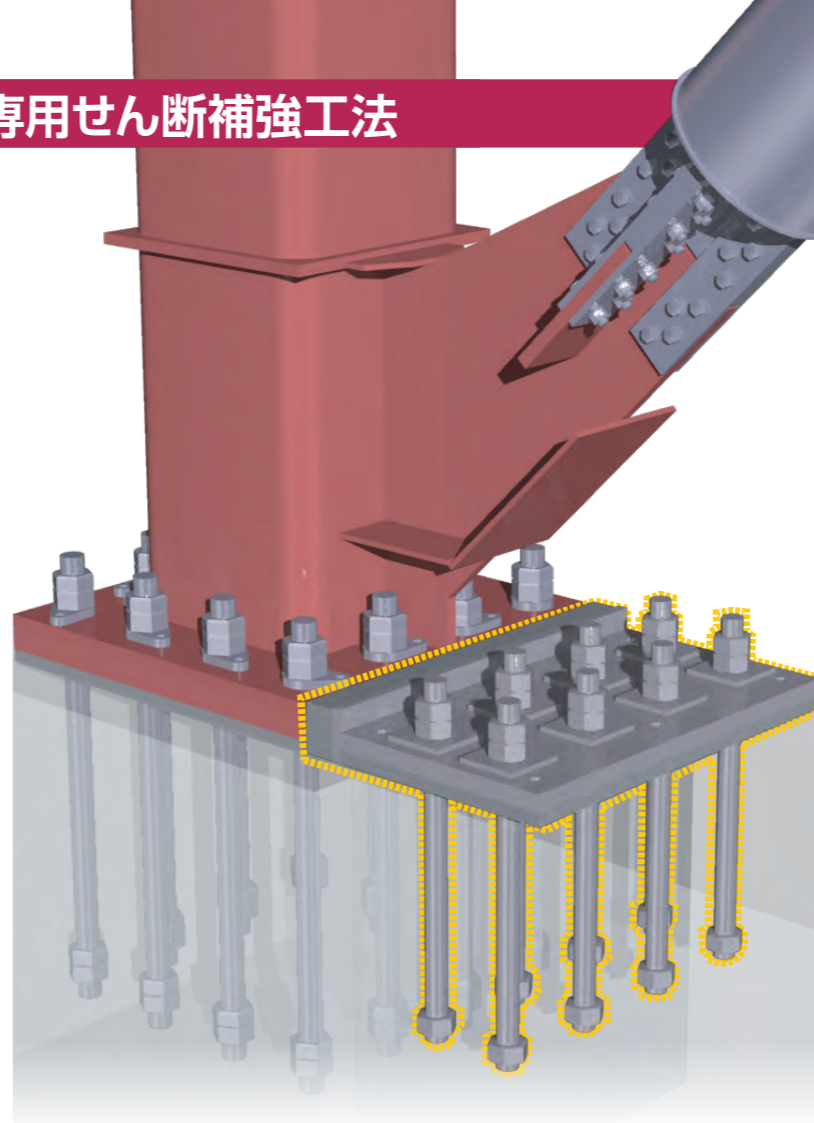


日本ERI(株) 構造性能評価を取得  
(ERI-K23008)

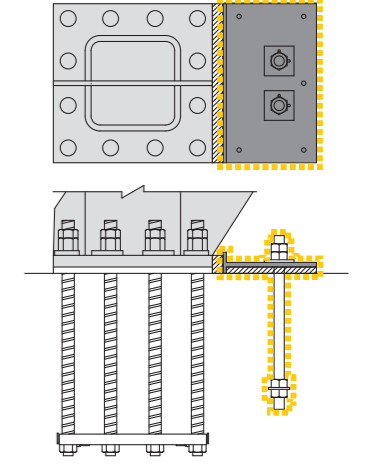
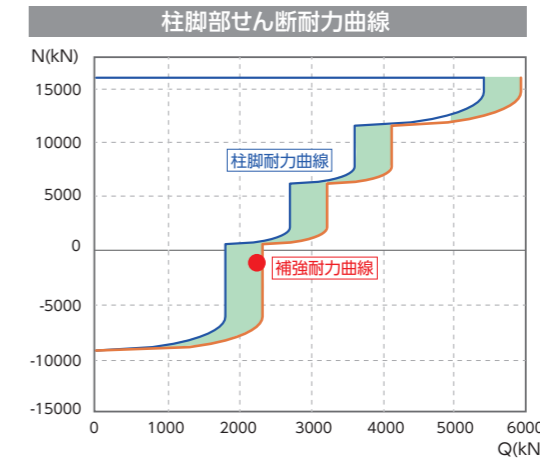
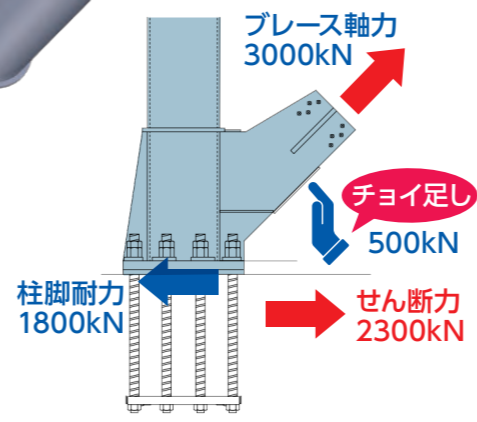


# ベースパック・セレクトベース柱脚専用せん断補強工法

## シアサイド + プラス<sup>®</sup> PAT. シアボルトタイプ SHEARSIDE PLUS Shearbolt Type



### 設計例



### 課題 1

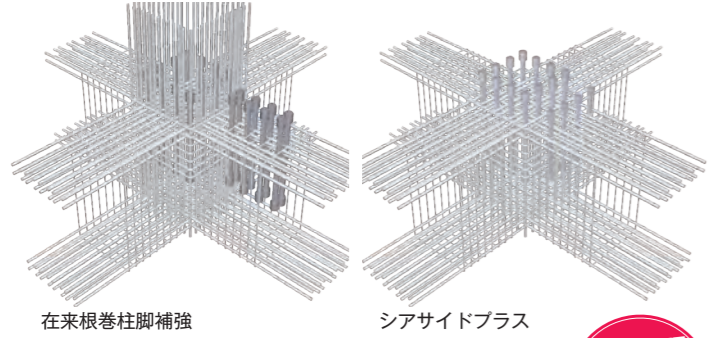
その問題  
チョイ足しで  
解決

柱脚部でせん断力を処理しきれない…  
▶ **せん断耐力を追加できる！**  
▶ **ブレースをV型からK型にして空間活用！**

### 課題 2

その問題  
チョイ足しで  
解決

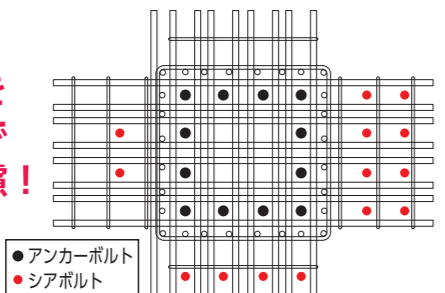
せん断補強により設計手間が増える  
▶ **柱脚回転剛性に影響を与えないため、設計の手戻り削減！**  
▶ **シンプルかつ合理的な補強！**



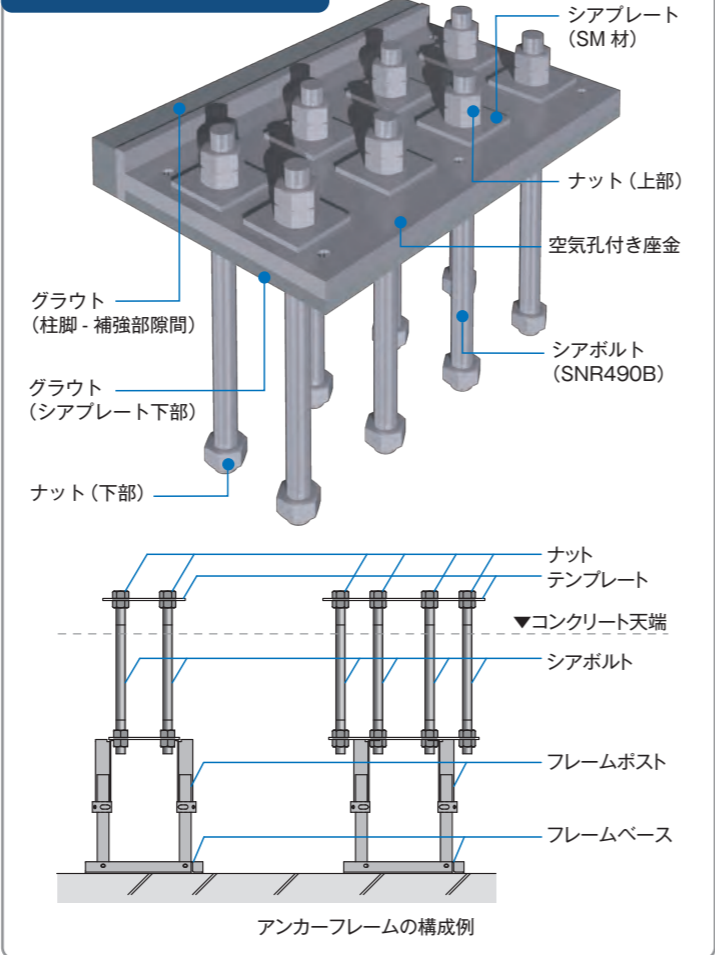
### 課題 3

その問題  
チョイ足しで  
解決

複雑な補強部材や過密配筋による施工負担…  
▶ **柱脚工事と同時施工が可能で、省力化！**  
▶ **柱脚側とボルト位置を揃えることで配筋性に配慮！**



### 構成部品

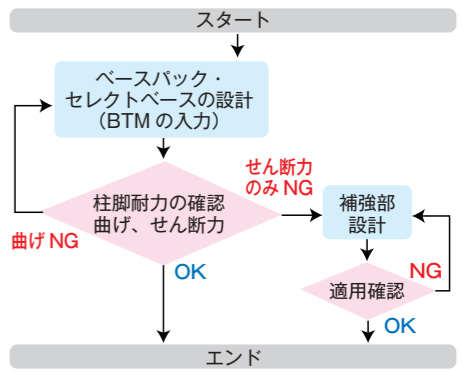


### 適用範囲

項目	適用範囲
柱脚	ベースパック / セレクトベース ※1
柱サイズ	300~700 角 柱脚工法に対応する角形鋼管柱
基礎梁幅	シアプレートの幅以上 ※2
基礎梁配筋	シアボルトが梁主筋の内側かつ柱型フープ筋の外側へ配置
基礎コンクリート強度	ベースパック / セレクトベースに準ずる

※1 基礎柱型上面とシアプレート設置面の高さを合わせてください。上立り等により高さが異なる場合、別途設計が必要となります。  
※2 シアプレート全面が基礎梁上にない場合、梁のフカシが必要になります。  
詳細は設計ハンドブックをご確認ください。

### 設計フロー



### 標準ラインナップ

ベースパック・セレクトベース柱脚に合わせて、各部品構成を定めています。柱脚形式に合わせてシアボルト配置を定め、配筋性を向上させています。

製品構成の組合せ方  
SS050C - 3019F2  
対応する柱脚 ベースパック / セレクトベース  
シアボルト配置タイプ  
せん断補強耐力 (例 500kN:050 1000kN:100)

柱径	柱脚型式	500kN 級		1000kN 級		1500kN 級		2000kN 級		シアボルト配置タイプ
		耐力	タイプ	耐力	タイプ	耐力	タイプ	耐力	タイプ	
300	30-19F2	572	C	1144	A	-	-	-	-	タイプA
	35-8H41W		-	-	-	-	-	-		
350	35-25F3	572	B	1144	A	-	-	-	-	タイプB
	35-22F4		-	-	-	-	-			
400	40-8H41W	572	-	-	C	-	-	-	-	タイプA
	40-25F3		-	-	B	1544	A	-	-	
450	45-8H41W	1048	-	-	C	-	-	-	-	タイプA
	45-28F3		-	-	B	-	-	-		
500	50-36F3	1048	-	-	C	-	-	-	-	タイプA
	50-28F4		-	-	B	-	-	-		
550	55-8M60W	1048	-	-	C	-	-	2096	A	タイプC
	55-40F3		-	-	B	-	-	-		
600	60-8M64W	524	-	-	C	-	-	-	-	タイプC
	60-40F3		-	-	B	-	-	-		
650	65-8M64W	972	-	-	C	-	-	-	-	タイプC
	65-36F3		-	-	B	-	-	-		
700	70-12M60W	972	-	-	C	-	-	1944	B	タイプD
	70-32F4		-	-	B	-	-	-		

※ 柱脚柱型を拡幅する場合、別途納まりの検討が必要です。  
※ 上記ラインナップ以外の仕様もございます。オーダー対応品となりますので、価格・納期は別途お問合せください。  
※ 構成部品の詳細や設計方法については、設計ハンドブック等の技術資料をご参照ください。